



おもと

www.omotokai.or.jp



TAKE FREE
ご自由にお持ちください



この春、おもと会では多くの新リーダーが誕生！
さらなる社会貢献とグループの発展に向けて
組織体制もいっそう充実しました。
新任管理者の皆さんに今後の意気込みや
抱負を語ってもらいます。

OMOTO TOPICS

地域の輪を広げる「つながる場所」へようこそ！

おもと会グループ職員3名が「看護の日」功労者知事賞を受賞

おもと会グループ公式 Instagramを開設しました！

聴こえや言葉の豆知識 07

のどを鍛えるカギは全身にあり！

筋肉量アップで飲み込み力を維持

ワンポイント・ガーデニング 多肉植物の寄せ植え

あたらしい仲間

おもと会グループ

新任者から
ごあいさつ



看取りまで支える地域医療の
担い手として根を下ろす



プレモ在宅クリニック
院長
高田 陽子

おもと会グループ

新任者から
ごあいさつ

介護老人保健施設
はまゆう
施設長
野原 卓



献身的に働くスタッフたち
彼らが働きやすい職場へ

本年4月1日付で、プレモ在宅クリニックの院長に就任しました、高田陽子です。私は東京女子医科大学を卒業し、呼吸器外科で働いた後、東京都や神奈川県で20年ほど訪問診療に携わってまいりました。出身は岩手県ですが、親が海好きだったたり、私自身沖縄に住みたいと思っていたこともあり、両親とともに移住してきました。沖縄でも訪問診療を手がけたいと思っていたところ、おもと会と縁があり、訪問診療に特化したプレモ在宅クリニックで働かせていただくことになったのです。

訪問先は那覇市内がメインですが、浦添市や豊見城市あたりまでカバーしており、個人のお宅はもちろん法人内および法人外の施設にもうかがいます。印象としてはやはり大浜第一病院との連携が取りやすいことがあげられます。自宅で暮らしている患者さんを診察して必要なら大浜第一病院を受診してもらったり、入院してもらったりすることもあります。このように病院と個人宅をつなぐ中継地点的な役割が果たせることは患者さん側にとっても医療側にとっても、大きなメリットといえます。

ただ、訪問診療には治療以外に看取りの側面があることも事実です。どうすれば苦しまず、安らかに最期を迎えてもらえるかというのは大きな命題であり、主治医としてはそこに深く関わっていかなくてはなりません。その意味では普通の医療と違う面があつて、患者さんの希望にも最大限配慮しつつ診療を進めていく必要があります。いかに最後を迎えるか、患者様やご家族様が訪問診療にしてよかったと思ってくれたかを日々考えながら診療にあたっています。

一方で、関東からやってきたばかりの人間をすんなり受け入れてもらえるかという点については、正直不安もありました。しかし、実際にはそんなこと関係なく、みなさん私を信頼して相談してくれたり、患者さんを紹介してくださったりと、温かく迎え入れてもらっています。患者さんも徐々に増えてきており、非常にありがたいと思っています。

患者さんは、法人内のケアマネジャーさんや訪問介護のスタッフさんから紹介されることが多いのですが、一般の個人からの直接相談にも対応します。「だれだれさんからプレモのことを聞いたので連絡してみました」みたいに口コミで広がっていくのが理想です。そんな感じで患者さんが増えていって、気候も人も温かい沖縄の地域医療のお役に立ちながら、ここでずっと暮らしていくのが私の願いです。

本年4月1日付で、介護老人保健施設はまゆうの施設長に就任しました、野原卓です。私は愛知医科大学を卒業後、研修を経て、まず中部徳洲会病院で急性期医療に携わりました。その後は、南城市の沖縄メディカル病院や名護市の勝山病院などにも勤務しました。そうしたさまざまな医療機関で働く中、一般内科から麻酔、リハビリも経験してきましたが、振り返ってみますとやはり高齢者を中心に診療にあたってきた観があります。

近年は大浜第二病院で非常勤の医師として勤務しておりました。その関係もあつて、はまゆうの施設長にならせていただいた流れになります。自分自身のキャリアや大浜第二病院で働いていたこともあり、施設長になってまだ2ヵ月ですが、診療業務は比較的スムーズに行えております。

診療の内容的には、入所者さんの健康状態を確認しつつ、状態に応じて対応するというのが基本ではあります。一方で、おもと会グループは大浜第一病院を核に連携体制ができていますので、いざというときには第一病院での治療や入院も視野に入れた診療に当たれるというのは大きな安心材料です。ちなみにこちらでは外来は行っており、入所者さんの診療に特化しております。

新任だからといって、私自身は特にこれまでとの違いは感じませんが、介護士さんや看護師さん、リハビリの担当者さんなどスタッフの働く姿を見て、本当によくがんばっているのを見張っております。職種によっては夜勤もありますし、介助中に小さなけがをされることもあります。それでも大きな問題を起こすことなく、日々仕事をこなしているのはすごいと思います。

私の場合は事務的な仕事が多く、大変なのは新しい器材に慣れること程度なので、施設はスタッフの努力で運営されていることをひしひしと感じています。

さらにいえば、施設の性格柄、入所者さんの健康をできるだけ維持し、可能ならもっと良くすること。さらに自宅に帰っていただくことを目標に日々業務を行っています。が、それを支えるのはやはりスタッフ一人ひとりのがんばりです。

人手の充足も含めて、スタッフが働きやすい環境にしていけることが一番かなと考えております。



沖縄看護専門学校
教務部長

栗國 美由紀

4月1日付で、沖縄看護専門学校の教務部長を拝命いたしました、栗國美由紀です。

看護教育は「個別最適な学び」や主体的に課題解決に取り組む「探究的な学び」へと大きくシフトし、医療DXへの適応力や、多職種と連携して患者の意思決定を支える高度なコミュニケーション能力が求められています。こうした社会の変化を踏まえ、患者に真摯に向き合う看護師の育成に努めるとともに、生涯にわたり指導力と専門性を高め続ける重要性を学生に伝えてまいります。

おもと会のバーパス実現に向け、引き続きご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



沖縄リハビリテーション福祉学院
副学院長

久高 将臣

このたび、副学院長を拝命いたしました、久高将臣です。本学院の卒業生として初めて副学院長の職責を担うこととなり、これまでご指導・ご支援くださった多くのみなさまへの感謝とともに、身の引き締まる思いでおります。

本学院を卒業後、県内医療機関で臨床に従事し、平成17年より専任教員として教育に携わってまいりました。副学院長として「すこやかな社会をつくる」の実現に向け、本学院の教育理念「真・善・美」を礎に、凡事徹底の姿勢を大切にしながら、不易流行の精神のもと、社会に貢献する専門職業人の育成に尽力してまいります。

今後とも、みなさまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

Greetings from the New Leader's



統括本部 財務部
部長代理

真名井 敦

このたび、約25年ぶりにおもと会に戻り、財務部部長代理として勤務することとなりました。再び皆様とともに働けることを大変光栄に感じております。

医療・介護を取り巻く環境は厳しさを増し、経営の安定と持続性がより一層求められています。その中でもと会が着実に発展してきたことに深い敬意を抱いております。財務面から力強く支え、地域医療の未来に貢献してまいりますので、今後ともご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

なお、私自身について少し申し上げますと、生涯スポーツとしてテニスを楽しんでおります。機会がございましたらお声掛けいただければ幸いです。



沖縄リハビリテーション福祉学院
教務部長

渡慶次 司

このたび、沖縄リハビリテーション福祉学院の教務部長に就任いたしました、渡慶次司と申します。本学院は地域の医療・保健・福祉を支える優秀な専門職を数多く輩出してまいりました。命と健康そして人間の尊厳に深く関わる人材の育成において、私たちは「真善美」に基づく全人教育を基盤に据えております。確かな知識と技術の修得はもちろん「豊かな人間性と倫理観」を育むことが使命と強く感じております。日々変化する社会のニーズを捉え、学生一人ひとりが寄り添う心と高い専門性を磨けるよう、教職員一丸で教育の充実に努めます。今後とも、みなさまの温かいご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



大浜第一病院
回復期リハビリテーション科 科長 **大田 守悟**

このたび、回復期リハビリテーション科の科長を拝命いたしました、大田守悟です。大浜第一病院が安里から天久へ移転した年に新卒として入職し、当院とともに成長させていただきました。これまでの業務を通して、多職種連携の重要性和、患者様一人ひとりに寄り添う支援の大切さを学んできました。日頃より支えてくださるスタッフのみなさまに、心より感謝申し上げます。今後はこれまでの経験を活かし、在宅復帰を見すえた質の高いリハビリテーションの提供と、働きがいのある職場づくりに努めてまいります。未熟ではございますが、さらなる向上を目指し精進してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



大浜第一病院 総合健康管理センター保健管理科
看護科長 **河上 みゆき**

このたび、大浜第一病院総合健康管理センター保健管理科看護科長を拝命いたしました、河上みゆきと申します。沖縄に移住して13年、地域医療に携わる中で多くの方々との出会いに支えられてまいりました。検診は不安を抱えて来院される方も多く、私たち看護職の声かけや丁寧な説明が安心感につながります。これまでの経験を生かし、受診者一人ひとりに寄り添い、スムーズで快適な検診を提供できるよう努めてまいります。また、スタッフが互いに学び合い、より良いサービスを生み出す職場づくりにも力を入れてまいります。未熟者ですが、笑顔を保ち、スタッフと共に成長できたらと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

Greetings from the New Leader's



大浜第一病院
渉外課 課長 **豊岡 学**

このたび、大浜第一病院渉外課の課長を拝命いたしました、豊岡学と申します。渉外課が属する総合健康管理センターは病院の中の「もう一つの小さな病院」というイメージで、その事務全般を担当しています。センターは、専属の医師や看護師または保健師、検査技師や放射線技師など多職種で構成されており、渉外課はチーム医療のパイプ役も担っています。私の役割が大きく変わることはないと思いますが、スタッフが働きやすい環境づくりとセンターのミドルマネジメントを意識し、受診者様に選んでいただける健診センターを念頭にセンター、病院、おもと会の発展につなげられるよう尽力してまいります。



大浜第一病院
リハビリテーション科 科長 **島袋 匡史**

このたび、大浜第一病院リハビリテーション科の科長を拝命いたしました、島袋匡史と申します。身の引き締まる思いとともに、その責任の重さを感じております。今後は、職員一人ひとりが働きやすく、学び続けられる職場づくりに努めることで、患者様へより良い医療を提供できる組織を目指してまいります。また、現場で働く職員の声と患者様の声に真摯に耳を傾けながら、みなさまとともに成長し、より良い診療科づくりに取り組んでまいります。ご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



訪問看護ステーションかみはら
科長

末吉 幸恵

このたび、訪問看護ステーションかみはらの科長を拝命いたしました、末吉幸恵です。当ステーションでは、小児から高齢者まで幅広い利用者様に対し、一人ひとりの思いや暮らしに寄り添った丁寧なサービスを大切にしています。また、QOLの向上を目指し、看護師とリハビリスタッフが密に連携しながら、地域で安心して暮らし続けられるよう支援に努めています。今後は、スタッフが働きやすく、やりがいを持てる職場づくりにも力を注ぎ、より質の高いサービス提供に尽力してまいります。まだ至らぬ点もございますが、地域に信頼される訪問看護ステーションを目指して精進してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。



介護老人保健施設 ぎのわんおもと園
総務課 課長

久保田 友樹

このたび、介護老人保健施設ぎのわんおもと園の総務課課長を拝命いたしました、久保田友樹です。日々のコミュニケーションを大切にしながら、部門間事業間の連携を円滑にすることで、みなさまが安心して力を発揮できる環境づくりに努めてまいります。請求業務においても一つひとつの仕事に丁寧に向き合いながら、信頼される業務運営を心がけてまいります。まだ至らない点もございますが、みなさまとともに成長し、安心して働ける環境づくりに貢献してまいりますので、今後ともご指導ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

Greetings from the New Leader's



特別養護老人ホームおもと園
介護科長

仙道 大樹

このたび、特別養護老人ホームおもと園の介護科長を拝命いたしました、仙道大樹と申します。おもと会に入職して3年目になりますが、それ以前は神奈川県で約10年間、介護現場に携わってまいりました。その経験も踏まえ、私は介護を「究極のサービス業」と考えており、この仕事に誇りを持っています。これからも、入居者様一人ひとりの尊厳を大切に、その方らしい生活を支えるとともに、生活の質の向上を目指してまいります。また、介護のやりがいや楽しさを職員全員で感じながら、互いに学び成長できる組織づくりにも力を注いでまいります。



小規模多機能ホームすずらん・グループホームたんぼぽ
科長

新城 愛美

このたび、小規模多機能ホームすずらん・グループホームたんぼぽの科長を拝命いたしました、新城愛美と申します。特定施設入居者生活介護かみはらでの勤務を経て、今年度よりすずらん・たんぼぽへ異動となりました。さまざまな介護サービスがある中で、当施設は地域密着型の特性を活かし、施設の特徴でもある「なじみの関係」を大切にしながら利用者様に寄り添い、職員一同が同じ方向を向いて支援できるようチームづくりにも力を注いでまいります。まだまだ未熟ではございますが、学びと自己研鑽に努めてまいります。今後ともご指導のほどよろしく願っています。



おもと会 安全感染管理室
看護科長

山城 奈奈

看護科長に就任しました、山城奈奈です。これまで医療安全や感染対策に携わり、患者・利用者・ご家族・職員が安心して過ごせる環境づくりに取り組んできました。そこで学んだ「小さな気づきや丁寧な関わりが、安心につながる」という思いは、今も私の大切な軸になっています。今後もケアがより温かく、より安全であるよう、日々の取り組みを積み重ねていきたいと思っています。法人内54施設・事業所が地域の大切な場所として支え合い、力を発揮し合えるよう、全体を包み込むような調整役でありたいと思います。まだ学ぶことも多い私ですが、みなさんと共に地域に寄り添う看護と支援を育てていければ幸いです。



統括看護・在宅支援部
訪問介護統括科長

真栄田 愛

このたび、統括看護・在宅支援部訪問介護統括科長を拝命いたしました、真栄田 愛と申します。
入職してこれまで多くの事を教えてくださった先輩方のご指導に心より感謝申し上げます。
また、日々現場を支えてくれている職員の皆さんの努力が事業所の力そのものです。皆さんの支えあつてこそ、今回の就任を迎える事ができたと感じております。
今後も職員一人一人が働きやすく、成長できる環境づくりに努め、利用者様に寄り添った質の高いサービスを提供し、地域に信頼される事業所であるよう精進してまいります。

Greetings from the New Leader's



おもと会グループ
ICT 推進室 室長

我如古 豊

「この作業、まだ手でやるの？」を、ひとつずつ減らしていくために…
このたび、おもと会グループ ICT 推進室の室長に就任いたしました、我如古豊です。私たちが目指すのは「根性論」に頼る職場ではなく、「仕組み化」によって誰もが無理なく働ける環境です。日々の業務の中で「少し楽になったね」と思える瞬間をひとつでも増やしたい。そのために、ICT や AI を「頼れる相棒」として現場に無理なく取り入れ、業務改善を着実に支えてまいります。「これ、もう少し簡単にならない？」という日々の小さな困りごとこそ、ぜひお気軽にご相談ください。みなさんの声を大切にしながら、丁寧に向き合っています。



統括本部
人事部 課長

宮城 徹

このたび、人事部課長を拝命いたしました、宮城徹です。
2004年に作業療法士として大浜第一病院へ入職し、その後、さまざまな立場で医療・介護に携わってまいりました。そうした経験を通して感じているのは、組織の力の源は常に「人」であるということです。
職員一人ひとりの力が組織を支え、その積み重ねがより良いサービスの提供につながっています。人の力が組織を支え、その組織がまた人を育てる。その良い循環をつくるのが、人事の役割だと考えています。
改めて、みなさまが安心して力を発揮できる環境づくりに努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

地域の輪を広げる

「つながる場所」へようこそ！

那覇市地域包括支援センター安里では、みなさんがいつまでも元気に過ごせるよう「3つのつながる場所」を運営しています。

こころは、認知症について専門職から学べるだけでなく、「ミニ運動や歌声を楽しんだり、スマホ操作や生け花に挑戦したりと、みなさんの「やってみたい」「つながりたい」を叶える活動が盛りだくさんです。

- ① HAPPY！メモリーカフェ 場所：安里二区公民館（毎月第3水曜/14時～15時30分）
- ② つながるカフェ花 場所：GO HANCAFE HANAHANA（毎月第2火曜/10時～11時30分）
- ③ もっとスマイルカフェ 場所：モスバーガー壺屋店（毎月第4木曜/10時～11時30分）

高齢の方に限らず、地域にお住まいのどなたでもご参加いただけます。ぜひお散歩ついでにでもふらっとのぞいてみませんか？笑顔あふれる憩いの場でお待ちしています！

お問い合わせ先 包括支援センター安里

電話 098-987-9512

那覇市地域包括支援センター安里下里かな



おもと会グループ職員3名が

「看護の日」功労者知事賞を受賞



令和8年度沖縄県「看護の日」ならびに「看護週間」記念式典が5月10日、南風原町の県看護研修センターで開催されました。式典では、長年にわたり看護業務や看護教育に尽力し、顕著な功績を残した保健師・助産師・看護師・准看護師・看護教員の中から10名が功労者知事賞を受賞しました。

おもと会グループからは、源河里美さん（特別養護老人ホームおもと園）、高良勝俊さん（沖縄看護専門学校）、西みゆきさん（大浜第二病院）の3名が受賞しました。受賞者のみなさまには、これまで積み重ねてこられた功績への敬意と感謝を込めて表彰状が贈られました。

このたびの受賞を心よりお祝い申し上げますとともに、おもと会グループは今後も地域医療・福祉の発展に貢献できるよう努めてまいります。

おもと会グループ 広報担当 仲宗根未来

おもと会グループ公式

Instagramを開設しました！

おもと会グループはこのたび、公式Instagram（Instagram）を開設しました。病院や介護施設、各事業所の日常の様子をはじめ、行事やイベント、職員の活動、地域との交流など、さまざまな情報を写真や動画で発信してまいります。患者様やご利用者様、ご家族のみなさま、地域のみなさまに、おもと会グループの取り組みや魅力をより身近に感じていただけるよう、分かりやすく親しみやすい情報発信を心がけてまいります。また、各施設の特色やサービス、採用に関する情報なども随時発信してまいります。ぜひフォローしていただき、最新情報をご覧ください。

おもと会グループ 広報担当 仲宗根未来



フォロー
お願いします

OMOTOKAIGROUP



マガ ゲンドライン カンマオン
(MAGAT GUENDOLINE CANGMAONG)

フィリピン出身／介護福祉士5年目
介護老人保健施設ぎのわんおもと園勤務
沖縄リハビリテーション福祉学院2022年卒

ゲンドラインさんは沖縄で、パキスタンの方と知り合い結婚。2023年7月男の子を授けました。母親と妹さんが子守のためフィリピンから来沖したこともありました。

介護福祉士として、そして母として、私の第一の目標は、子育てを通して培った養育への思い、忍耐力、マルチタスク能力を活かし、利用者様一人ひとりに思いやりのある、安全で丁寧なケアを提供することです。

子育てと仕事を両立する中で、相手のニーズを先読みする力、急な出来事にも落ち着いて対応する力、そして他者を支える責任感を身につけてきました。

この経験と姿勢を仕事にも活かし、すべての利用者様が日常生活の中で尊厳と敬意を感じ、安心して十分なサポートを受けられるよう尽力してまいります。

ゲンドラインさんのモットーは

子育てと仕事の両立を通して、求められていることや、トラブルの対処、人を支える力が高まりました。献身的な姿勢で入所者の皆様の日常生活をサポートすることです。



多肉植物の寄せ植え



今回は多肉植物の寄せ植えをご紹介します。

①直径10cmの器を使用し、鉢底ネットを入れます(鉢底に穴が開いていて、器が小さめだと作りやすいです)→写真①

②鉢底石を入れます。(夏場は、少し多めがおすすめで器に対して1/3～半分ぐらい)→写真②

③花と野菜の培養土に水はけのよい土(鹿沼土等)を半分ほど入れて混ぜたら、鉢に入れます(多肉植物サボテン用の土もあり、なるべく水はけのよい土がおすすめ)→写真③

④今回は根付き苗とカット苗を植えます。中央から外側へピンセットなどを使いながら、大きい苗から植えながら土を足して、順番に段々と小さくしていけばお手軽にできます→写真④

⑤寄せ植え完了です。多肉植物は、株や葉をカットして根がなくても土に挿すだけで大丈夫です。次第にふんわりと可愛い姿を見せてくれます→写真⑤

【ワンポイント】水やりは、土がしっかり乾いたら、葉が少しシワツとしたら鉢底から水が出るぐらい与えます。

季節によって様々な色を見せてくれたり、モリモリ増えてくれたり、時には花を咲かせたり、そして増えた多肉植物たちでまた寄せ植えを楽しむことができるので、とてもおすすめです。みなさまもぜひ一度お試しください。



おもととよみの杜 環境整備課 下門 徹也

聴こえやの葉知識

07

「のどを鍛えるカギは全身にあり!」
筋肉量アップで飲み込み力を維持!

「食事中によくむせる」「固いものが飲み込みにくくなった」…こうした嚥下(飲み込み)のトラブルは、のどの筋肉の衰えだけが原因だと思っていませんか? 最新の研究で、リハビリによって「全身の筋肉量(骨格筋量)」が増えたグループは、増えなかったグループに比べて、嚥下機能が大幅に改善することが分かりました。手足をしっかり動かすと食べる時の正しい姿勢が保ちやすくなり、脳の血流が増えるのを動かす神経が活性化するためです。のどの健康を守るには、全身の運動が近道なのです。

さらに、お家で毎日できる簡単な「飲み込み力アップ運動」を組み合わせるとより効果的です。

- おでこ体操: 額に手のひらの付け根を当て、お互いに全力で押し合います。視線はおへそを見るように下を向きます(5秒×5回)。
- バタカラ足踏み: 「バ・タ・カ・ラ」と声を出しながら、その場で足踏みをします。おうちの俊敏性を高めながら全身を動かします。
- 顎挙上抵抗運動(CTAR): あごと胸の間に小さめのゴムボールや丸めたタオルを挟み、あごを強く引き下げて押しつぶします。のど仏を引っ張り上げる筋肉が効率よく鍛えられ、誤嚥を防ぐ力が育ちます。(下図参照)

CTAR(嚥下訓練)

Chin Tuck Against Resistance (チン・タック・アゲインスト・レジスタンス)

CTARは、顎を引いた状態で抵抗に押し当てることで、舌骨上筋群の筋力強化と嚥下時の舌骨挙上の改善を目的とした訓練です。

方法

- 椅子に座り、背筋を伸ばします。ボールや握めた柔らかいボール、または手を顎の下に当てます。
- 顎を強く引いて(うなづくように)、顎とボール(または手)の間で力を入れます。
- 5～10秒間、力を入れたまま保持します。
- 力を緩め、顎を元の位置に戻します。これを10回程度繰り返します。

ポイント

- 顎は強く引く(強く引きすぎない)
- 首や肩に力を入れない
- 呼吸は止めない
- 痛みがある場合は中止する

効果

- 舌骨上筋群の筋力強化
- 舌骨の挙上改善
- 嚥下反射の改善
- 嚥下のリスク軽減

作用のイメージ

CTAR前: 舌骨の挙上が不十分

CTAR後: 舌骨の挙上が改善 → 嚥下機能の向上

「しっかり歩いて全身の筋肉をつけること」と「食事前のだよ運動」。この2つの習慣をセットで行い、いつまでも美味しい食事を楽しみましょう!

沖縄リハビリテーション福祉学院 言語聴覚学科 久高 健汰